

運休解消へ2両を陸上輸送



▲2台のクレーン車を使ってつり上げられる秋田内陸線車両

●秋田内陸線車両陸上輸送

土砂崩れによる運休を解消するため、秋田内陸縦貫鉄道(佐々木琢郎社長)は、3月21日から22日にかけて車両2両の陸上輸送を行いました。

21日は阿仁合駅から2両をクレーン車でつり上げ、大型トレーラーに積み込み、22日には阿仁合駅から国道105号を通過して米内沢駅に輸送し、線路に車両を降ろす作業が行われました。

鷹巣～阿仁前田間では、2月17日に小淵駅付近で発生した土砂崩れのあと、1両で運行していましたが、今回の陸上輸送により同区間の車両は3両となり、4月1日から運休は解消されました。土砂崩れで不通になっている阿仁前田～阿仁合間の復旧工事は、4月末には終了し、運行再開の見通しです。

サケの稚魚3万匹を放流



▲湯車川にサケの稚魚を放流するジュニアボランティアガイドのメンバーたち

●第7回カムバック・縄文サーモン

伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進サケ放流事業「第7回カムバック・縄文サーモン」が、4月15日に同遺跡近くを流れる湯車川で行われ、市民や児童など約30人が参加し、サケの稚魚約3万匹を放流しました。

縄文館で行われた開会式では、同遺跡ワーキンググループの武藤祥子副代表が「ここ数年は、遡上するサケの数も多くなり、魚影の中には大きい個体も見受けられ、事業の効果が出ていると実感している」などとあいさつ。

参加者たちは、川岸に並んで「大きくなって帰って来て」と声をかけ、数年後の里帰りに期待を込めて放流していました。稚魚は、川面を力強く泳ぎ回り、下流に向かって泳いでいきました。

新生活に胸を弾ませる新入生



▲上級生が持つ花のアーチをくぐって入場する米内沢小学校の新1年生

●市内小中学校入学式

市内の小中学校では、4月7日に入学式が行われ、新入生が希望に胸を膨らませて式に臨みました。

このうち、米内沢小学校(佐藤洋子校長)には、24人の新1年生が入学しました。入学式では、新入生が上級生に手を引かれながら、花のアーチをくぐって会場の体育館に入場。新入生の点呼では、先生から名前が呼ばれると、元気な声で返事をしました。佐藤校長は「皆さんの入学を楽しみに待っていました。交通安全に気を付けて元気に学校に通ってください」などと式辞を述べました。

市内小学校10校で193人が、中学校5校では221人の新1年生が、学校生活をスタートさせました。

最先端医療や地域ケアについて考える

●北秋田市医療講演会



▲約600人の市民が聴講し、地域包括ケアシステムについて理解を深めた講演会

北秋田市医療講演会が、3月18日に市文化会館で行われ、約600人の市民が聴講し、今後の地域包括ケアシステム構築に向けて理解を深めました。

はじめに、平塚市民病院(神奈川県)消化器外科部長の山本聖一郎氏が「地域連携を目指した外科治療」と題して講演。山本氏は最先端医療の腹腔鏡手術について解説し、開腹手術よりも術後の回復が早いことを指摘しました。

続いて、北秋田市民病院地域医療連携室副師長の山城洋子氏が「医療から在宅へ」北秋田市民病院の取り組み」と題して実践発表しました。

聴講者は、最先端医療や地域連携の取り組みに聴き入りながら、改めて地域医療の大切さを感じていました。

無数の火が闇夜を照らす

●春彼岸の伝統行事「万灯火」



▲「まとび」、「大仏」などの火文字を描き、先祖を供養した万灯火

春彼岸の中日にあたる3月20日、合川地区の各集落で伝統行事「万灯火」が行われ、迎え火の明かりが残雪の山間を照らし出しました。

万灯火は、合川地区の小阿仁川流域で古くから行われ、山の尾根や沢づたいに松明を灯して祖先の霊を迎える伝統行事。現在は、ダンボと呼ばれる油を染み込ませた布玉を、針金で支柱に結びつけて燃やし、先祖をしのぶとともに豊年満作などを祈願しています。

この日は、午後6時頃から各集落で点火が始まり、数百メートルにわたる万灯火や火文字が暗闇に浮かび上がり、道路沿いには見物客が車を停車し、万灯火が闇夜と残雪を照らし出す幻想的な光景に見入っていました。

地域一丸で交通事故防止を

●春の全国交通安全運動総決起集会



▲交通安全パレードが市内を巡回し、交通安全を呼びかけました

平成29年春の全国交通安全運動が、4月6日から始まり、北秋田地区交通安全協会(佐藤登会長)主催の総決起集会が、北秋田の杜公園で行われました。

総決起集会には、北秋田警察署をはじめ安全運転管理者協会、事業主交通安全推進協会、交通指導隊連合会、交通安全母の会、老人クラブ連合会など、約200人が参加。佐藤会長は「悲惨な交通事故の発生がゼロとなるよう地域一丸となって運動を繰り広げていきたい」などとあいさつしました。

また、交通安全母の会が「交通安全音頭」を披露。集会のあと、パトカーを先頭に交通安全ののぼり旗を掲げた軽トラックなどが市内をパレードし、市民に交通安全を呼びかけました。